

浜松市総合雨水対策計画2024（概要版）

近年の浸水被害と雨水対策の現状

■ 令和4年に発生した豪雨被害と高まる浸水リスク

浜松市内では、令和4年に3回の豪雨に見舞われ、『令和4年9月23日台風第15号』では、**床上浸水472戸、床下浸水1,470戸の甚大な被害が発生しました。**

また、浜松市では時間雨量50mm/hr以上の非常に激しい雨の発生回数は、約40年前に比べて『約2.5倍』と増加しており、今後、気候変動に伴う降雨量の増加等が予想されており、**更に浸水リスクが高まっています。**

■ 雨水対策の現状と、『浜松市総合雨水対策計画』の見直しの経緯

本市では、令和2年2月に策定した『浜松市総合雨水対策計画』により関連部局が連携し、選択と集中による効果的・戦略的な対策を行ってきました。

しかし、『令和4年9月23日台風第15号』等による浸水被害を受けたため、**流域での治水安全度を高めるよう、対策メニューの追加・具体化等を検討**しました。

雨水対策の基本方針

■ 対策エリアの選定

関連部局が、『重点対策エリア』の特性に応じた、**必要な対策を計画的に実施し**、浸水被害に対する安全度の向上を図ります。

【重点対策エリア】

- ・評価指標に基づき重要度を評価して選定
- ・エリアの特性、状況に応じた対策目標を設定、エリア全体での浸水対策計画を立案
- ・面的対策を実施

【一般エリア】

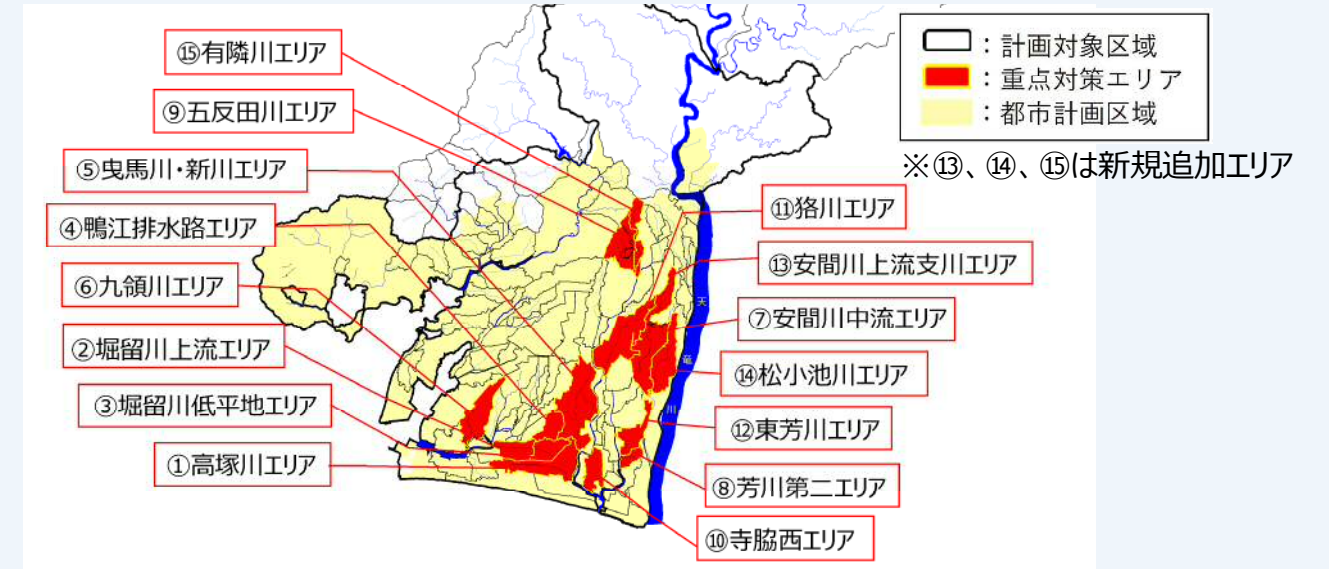
- ・局所対策を個別に実施



■ 対策の方向性

- ・排水先河川の改修には今後も時間を要することが予想されていることから、**河川改修等に加え流域での貯留を組み合わせ**、治水安全度を計画的に向上させていきます。
- ・**新たな対策についても引き続き検討し、対策メニューを随時追加して**いきます。

重点対策エリアを12→15エリアへ拡充します



計画期間と対策目標

- 計画期間：計画の策定から10年間（令和6年度～令和15年度）
- 計画目標：各エリアの目標降雨と同等規模の降雨に対し、**床上浸水の概ね解消**

雨水対策の3つの柱

川や浸水に関する情報提供を行い、防災意識の向上を図ります。



みんなで雨水対策に取り組み、床上浸水の概ね解消を目指します。



河川・排水路の整備

川幅が狭く、雨水を多く流せない河川や排水路を拡幅し、流下量の増大 (たくさん水を流す) を図ります。

緊急内水ポンプの設置

可搬式ポンプの設置により、緊急的に内水を処理し、内水被害の軽減を図ります。

⑪ 猪川エリア等

適切な維持管理

河川、排水路、下水道施設等を適切に維持管理して、流下能力を正常に保ちます。

田んぼダム

⑨ 五反田川エリア等

雨水を一時的に田んぼに貯め、時間をかけて少しずつ排水することにより、排水路に流れ込む水の量を減らします

田んぼダム

雨水貯留に必要な十分な高さの畦畔

排水槽と流出量調整板

下水道施設整備

⑫ 堀留川上流エリア等

下水道施設の整備を行い、雨水処理能力を高めます。

雨水貯留管

参考：大石2号貯留管工事 (新潟市)

排水ポンプ施設

ポンプ場

市野雨水ポンプ場

雨水貯留施設の整備

河川・排水路の水を一時的に貯める施設を整備し、河川等の水位上昇を抑制します。

校庭、公園貯留施設の整備

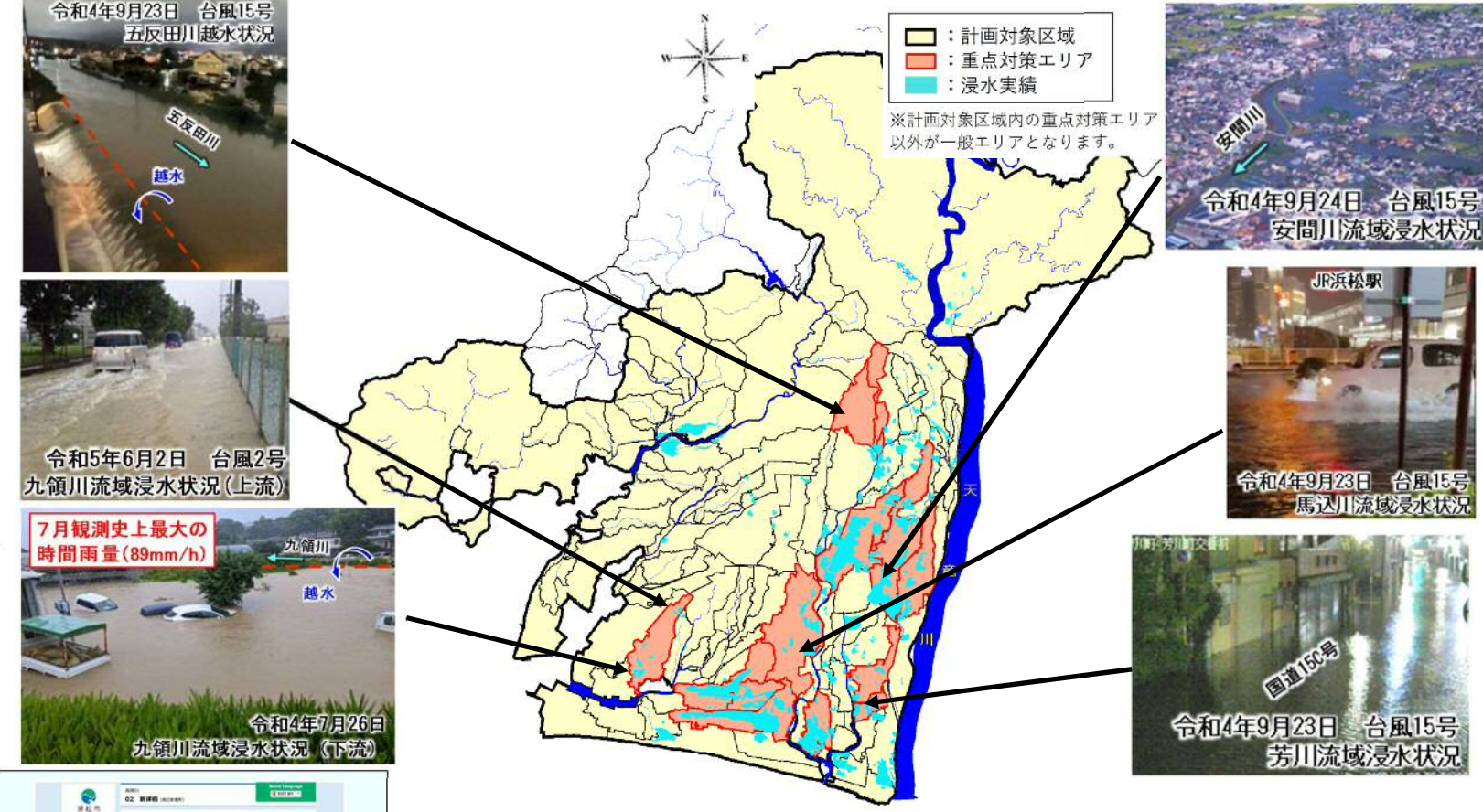
校庭、公園において雨水を貯留する施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。

川をしる (ソフト対策)

被害軽減 (土のうステーションの設置)

意識啓発 (水害ハザードマップの周知)

情報提供 (河川カメラ・水位計の設置)



総合雨水は **BY ALL** みんなで対策

浸水実績図

計画本編

浜松市都市雨水対策協議会 事務局
浜松市上下水道部下水道工事課
TEL:(053)474-7514
浜松市土木部河川課
TEL:(053)457-2451

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

令和6年3月